

大津企業景況調査報告書

(第61回)

平成25年 4月～ 6月期 実績

平成25年 7月～ 9月期 見通し

大津商工会議所

大津企業景況調査について

(平成25年4月～6月期)

1. 調査方法

大津商工会議所会員企業 100 社に F A X 方式による調査

2. 調査企業

産 業 別	調査対象企業数	有効回答企業数	回 収 率
建 設 業	20社	12社	60.0%
製 造 業	10社	9社	90.0%
卸 売 業	10社	8社	80.0%
小 売 業	30社	18社	60.0%
サービス業	30社	20社	66.6%
合 計	100社	67社	67.0%

3. 調査期間

調査対象期間は平成25年4月～6月とし、調査時点は平成25年6月1日とした。

4. 調査データについて

調査の結果を示す指数として DI 指数を採用した。DI 指数とは Diffusion Index (景気動向指数)の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた数値である。

「業況」、「売上高」、「採算(経常利益)」、「従業員」の DI 指数は、前年同期との比較である。

「資金繰り」、「資金借り入れの難易度」の DI 指数は、3 ヶ月前との比較である。

「取引の問合せ」、「採算(経常利益)の水準」の DI 指数は、過去比較でなく水準を聞いたものである。

景況感は緩やかに持ち直し

平成 25 年 4 月～6 月期の大津企業景況調査の結果がまとまった。調査結果を示す指数として DI 指数（景気動向指数）を採用している。DI 指数は実数値などの上昇率を示すものでなく、強気、弱気などの経営者マインドの相対的な広がりの意味する。

全体

景況は、全体の業況判断 DI（前年同期比）が 1 年 9 ヶ月間▲30 台で推移していた後、前四半期は▲23、今四半期は▲21 と緩やかに持ち直している。業種別では、円安時に業況が上向き卸売業がプラスに転じている。また、小売業、サービス業では株価の乱高下の影響もあるとみられ、前四半期の見込みより上昇度は鈍いが回復している。一方、製造業では再びマイナスに転じ、建設業でもやや悪化している。これは、景気回復がまだ中小企業にまでよく浸透していないためとみられる。

先行きは、業況判断 DI が▲12 にさらに改善し、景気回復が期待されている。特に小売業、サービス業は大幅に改善を見込み、景気回復による消費マインドの改善期待がみられる。一方、製造業、建設業は回復が足踏みすると見込んでいる。

□ 業況判断 DI（前年同期比）は緩やかに改善。卸売業がプラスに転じる

「前年同期比でみた業況判断 DI(全体)」(「好転」－「悪化」)は、2 年近く▲30 台で推移していたが、前四半期から▲20 台に緩やかに持ち直している。業種別では、卸売業がプラスに転じている。小売業、サービス業でも見込みより鈍いが回復した。一方、製造業は再びマイナスに転じ、建設業でもやや悪化している。

□ 売上 DI（前年同期比）は改善続く。製造業以外はすべて改善

「前年同期比でみた売上 DI(全体)」(「増加」－「減少」)は、前四半期の▲21 から今四半期▲15 と 2 期連続改善した。業種別にみると、製造業が増加から減少に転じたが、他のすべての業種は改善し、卸売業は減少から増加に転じた。

□ 採算 DI（前年同期比）は改善。サービス業以外は概ね改善

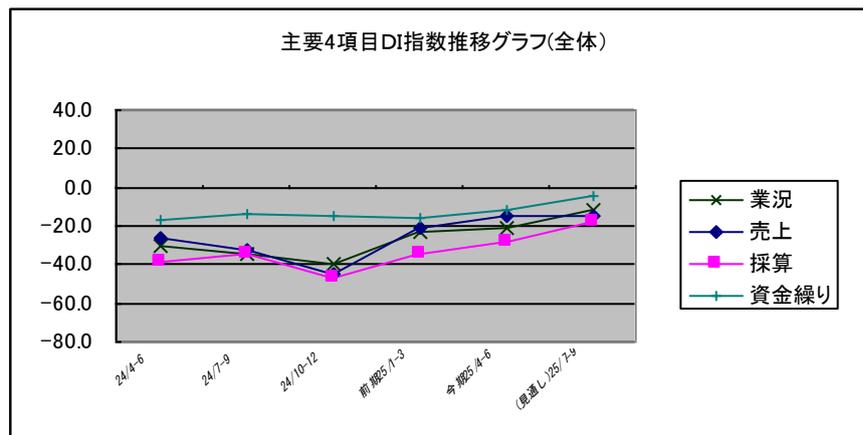
「前年同期比でみた採算(経常利益) DI(全体)」(「好転」－「悪化」)は、前四半期▲34 から今四半期▲28 と 2 期連続改善した。業種別にみると、サービス業がやや悪化し製造業は不変だったが、他のすべての業種で改善した。

□ 資金繰り DI（3 ヶ月前比）はやや改善。小売業以外はすべて改善

「3 ヶ月前比でみた資金繰り DI(全体)」(「好転」－「悪化」)は、前四半期の▲16 から今四半期▲12 にやや改善した。業種別にみると、小売業で悪化しその他の業種はすべて改善した。

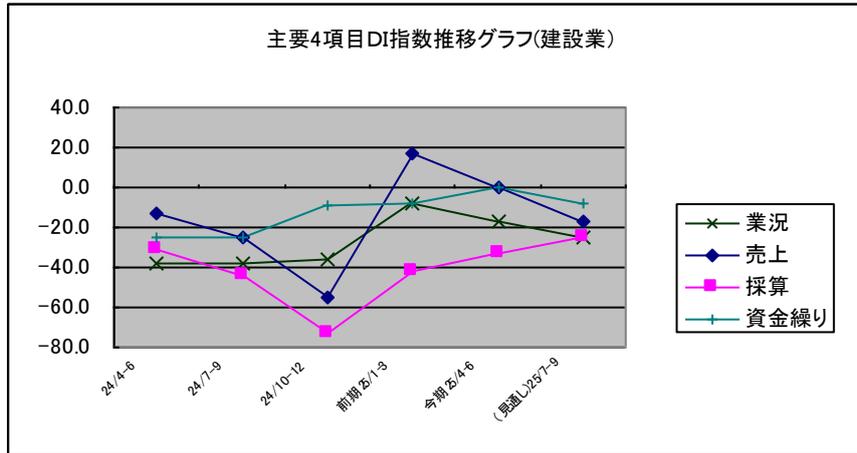
□ 従業員 DI（前年同期比）はやや人員過剰。建設業、製造業が過剰に

「前年同期比でみた従業員 DI(全体)」(「不足」－「過剰」)は、前四半期の+3 が今期▲2 とやや人員過剰に転じた。業種別にみると、建設業、製造業が人員過剰に転じ、小売業は適正人員。サービス業は人員過剰から不足に転じた。



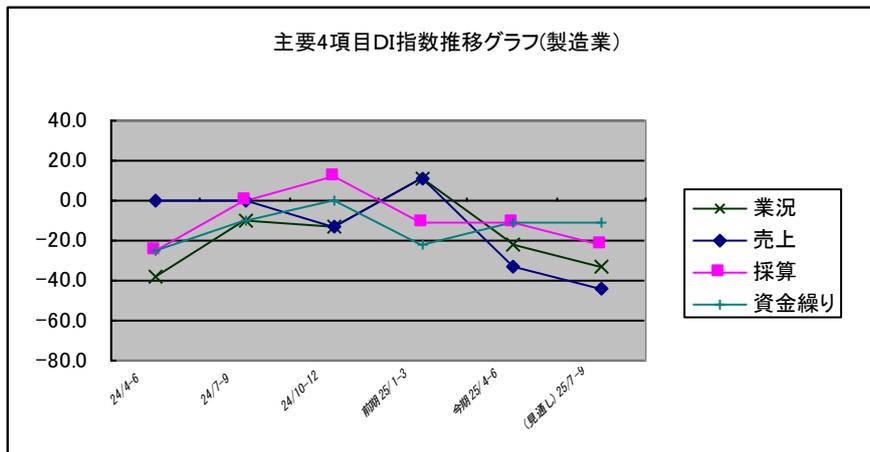
建設業

DI指数をみると、「業況」は前四半期▲8から今四半期▲17と悪化した。これは、民間設備投資や住宅投資、公共投資で前向きの動きがみられるものの、円安による材料費の上昇を競争激化で価格転嫁できないこと等によるものとみられる。個別指標をみると「売上」が前四半期の+17から今四半期±0に悪化し、かつ「採算水準」は前四半期の+8から今四半期▲17と赤字に転じた。「取引の間合せ」は前四半期の▲8から今四半期▲17と悪化し、「人員」は前四半期の+25から今四半期▲8と過剰に転じた。



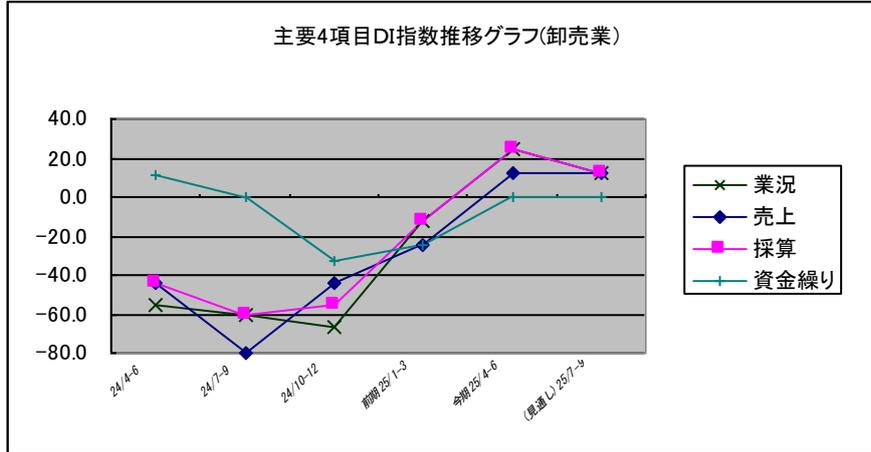
製造業

DI指数をみると、「業況」は前四半期+11から今四半期は▲22と大幅悪化してマイナスに転じた。これは、景気回復が中小製造業にまだまだ浸透していないことを示している。「採算水準」において黒字企業は増加しているが、「売上」が前四半期の+11から今四半期は▲33と減少に転じている。「従業員」は前四半期+11から今四半期は▲11とやや人員過剰に転じている。



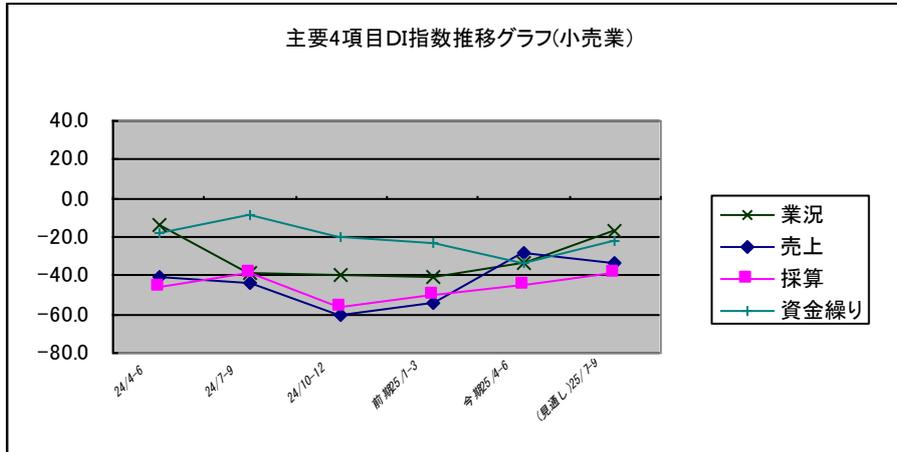
卸売業

DI 指数をみると、「業況」は、円安時に業況が上向き特性が出て、前四半期の▲13 から今四半期は+25 と大幅に改善しプラスに転じた。「売上」は前四半期の▲25 から今四半期+13 と大幅に改善しプラスに転じ、「採算」が前四半期の▲13 から今四半期は+25 に改善してプラスに転じ、「採算水準」は収支トントンから半数が黒字企業になった。「資金繰り」も改善した。



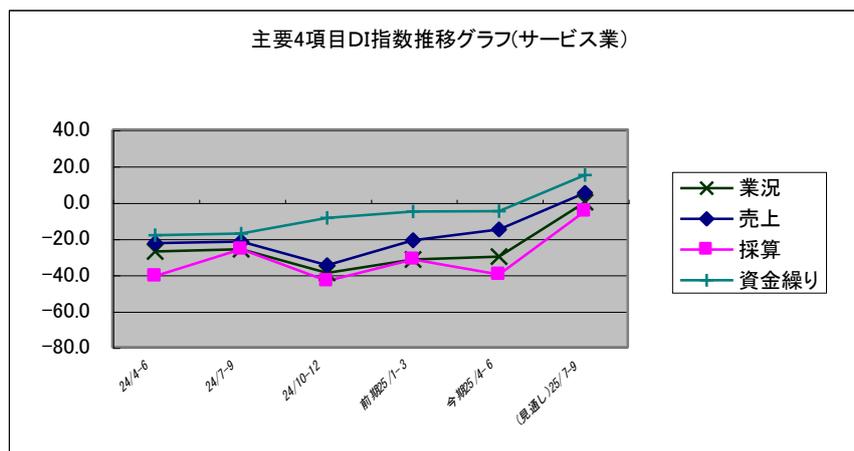
小売業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の▲41 から今四半期は▲33 と改善したが、見込みより回復が鈍くなっている。これは、株価が乱高下した影響もあるとみられる。個別指標をみると「売上」は前四半期の▲55 から今四半期▲28 と改善し、「採算水準」は前四半期の▲32 から今四半期▲33 とほぼ横ばいである。「取引の問い合わせ」はやや改善した。「従業員」は適正人員である。



サービス業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の▲32 から今四半期は▲30 とやや改善した。見込みより回復が鈍くなっているのは、小売業と同じ理由とみられる。「売上」は前四半期の▲21 から今四半期▲15 と改善したが、「採算水準」は前四半期の▲5 から今四半期▲35 に悪化している。「問い合わせ」は改善し、「従業員」は前四半期の▲5 のやや人員過剰から今四半期は+10 で人員不足になった。



来四半期（3ヵ月後）のDIの見通しについては、全体的に改善するが、業種によりまだ模様になっている。全体の「業況」は、今四半期の▲21 から来四半期にはさらに▲12 に改善する見通し。個別指標でみると「売上」は前四半期と同水準であるが、「採算」が10ポイント良化して▲18 になり、「採算水準」が16ポイント良化して+6になる。「取引の問い合わせ」も4ポイント良化して▲18 となっている。

来四半期の「業況」見通しを業種別にみると、建設業、製造業は、まだ改善効果が及ばず悪化が続く。一方、卸売業はプラスを維持し、小売業、サービス業は、引き続き改善するように見込んでいる。これは、円安、株高等による景況感の改善が消費者心理に及んでくると期待されているものとみられる。

3ヵ月後の設備投資については、設備投資計画があると回答した企業の割合は前四半期から6ポイント減少して今四半期は18%となった。業種別にみると、卸売業が前四半期に引き続いて最も高く38%、製造業と小売業が前四半期から減少してともに22%となった。投資企業の投資内容の割合は、更新投資が29%で最も多いが、生産力増加投資も21%ある。投資方針は、「今後の景気に拘らず計画通り」とする企業が42%ある一方で、「景気動向によって見直す」企業も42%ある。企業経営者は景気回復に期待しつつも、設備投資が将来の業績に大きな影響を及ぼすため慎重な姿勢も見せている。

(MBA・中小企業診断士 田中清行)

(今の経済情勢に対する意見)

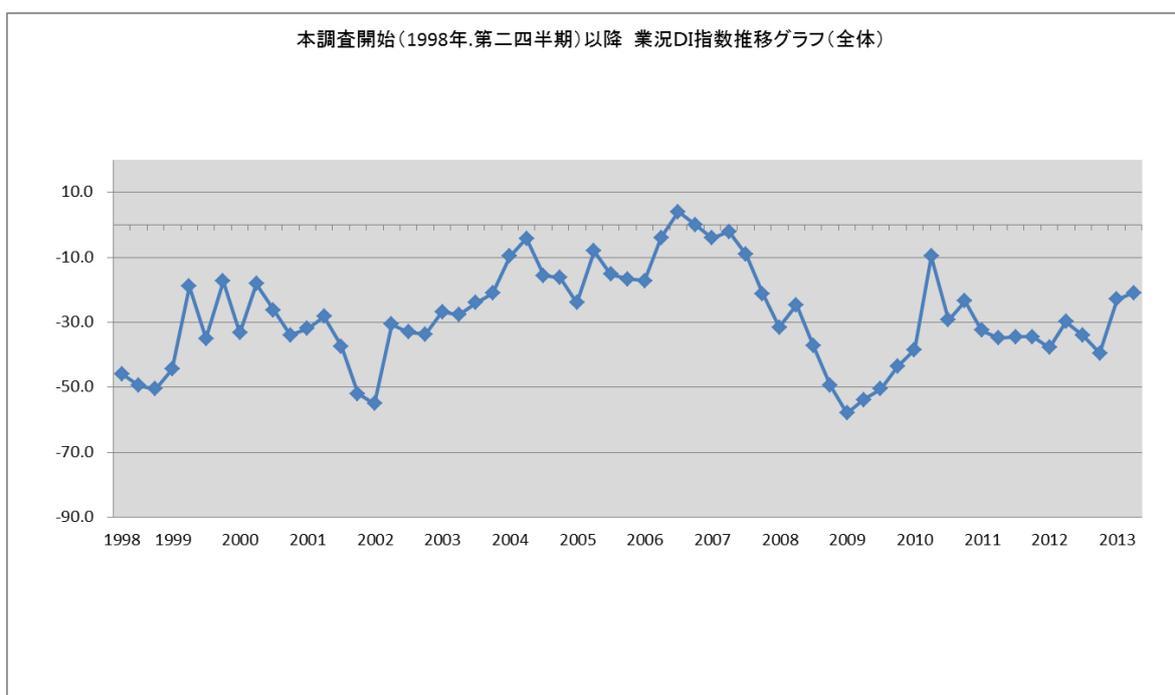
今の経済情勢に対する意見を寄せた企業は5社であった。

- 引合いの大半は海外法人での引合い。
- アベノミクスの「成長戦略」に期待するが、我々までには景気は良くなるまいだろう。
- 消費税が上がる事への準備、対応に迷う所があります。微妙に変化していく消費（購買場所、ハートなど）に対して、「今」の状況にあわせながら、最善を尽くすしかないと思っています。
- 零細事業者には消費税増税以上に社会保険料（厚生年金等）の負担が大きくなってきている。将来に向かって確実に受給できるか不安定なものに、本人及び事業主の負担は大きくなることによる事業の不安定化を招いてきている。（やめるかまよっている）
- 天候に左右されやすい建設業、梅雨入りが早いのがスケジュールに影響が出てくるのではないかと。

D I 指数一覧表

	業 況		売 上 高		採 算 (経常利益)	
	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見 通 し	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見 通 し	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見 通 し
全 体	▲ 20.9	▲ 11.9	▲ 14.9	▲ 14.9	▲ 28.4	▲ 17.9
建 設 業	▲ 16.7	▲ 25.0	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 25.0
製 造 業	▲ 22.2	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 44.4	▲ 11.1	▲ 22.2
卸 売 業	25.0	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5
小 売 業	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 27.8	▲ 33.3	▲ 44.4	▲ 38.9
サービス業	▲ 30.0	0.0	▲ 15.0	5.0	▲ 40.0	▲ 5.0
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	
	採算 (経常利益) の水準		取引の問い合わせ		従 業 員	
	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見 通 し	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見 通 し	4-6 月期 動 向	7-9 月期 見 通 し
全 体	▲ 10.4	6.0	▲ 22.4	▲ 17.9	▲ 1.5	▲ 1.5
建 設 業	▲ 16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 8.3	0.0
製 造 業	44.4	22.2	▲ 11.1	▲ 22.2	▲ 11.1	▲ 11.1
卸 売 業	50.0	62.5	0.0	12.5	▲ 12.5	▲ 12.5
小 売 業	▲ 33.3	▲ 27.8	▲ 38.9	▲ 38.9	0.0	0.0
サービス業	▲ 35.0	10.0	▲ 25.0	▲ 10.0	10.0	5.0
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	

	資金繰り		長期資金借入難易度		短期資金借入難易度	
	4-6月期 動向	7-9月期 見通し	4-6月期 動向	7-9月期 見通し	4-6月期 動向	7-9月期 見通し
全 体	▲ 11.9	▲ 4.5	1.5	▲ 1.5	1.5	4.5
建 設 業	0.0	▲ 8.3	8.3	▲ 8.3	16.7	16.7
製 造 業	▲ 11.1	▲ 11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
卸 売 業	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0
小 売 業	▲ 33.3	▲ 22.2	▲ 5.6	▲ 11.1	▲ 5.6	▲ 5.6
サービス業	▲ 5.0	15.0	0.0	10.0	▲ 5.0	10.0
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	



縦目盛り軸は、全業種の業況DI指数を表しています。横目盛り軸は、調査年を西暦で表しています。

大津商工会議所

〒520-0806 大津市打出浜2番1号

コラボしが21・9F

TEL 077-511-1501

FAX 077-526-0795

URL <http://www.otsucci.or.jp/>